



12月15日 東地申第29号

品川営業統括センター「変革2027の実現」に向け、

駅の安全作業を担保し、「ヒト起点の価値・サービスの創造」から、

よりお客さまからの信頼と豊かさの実現に向けた緊急申し入れ

提出!!

12月14日 品川営業統括センター（品川駅）の
駅報に突如、駅設備に関する記載が！

全社員勉強会があったけど、
何の説明もなかった！
品川駅はどうなるの!?



12月22日～
スリム化によるホーム、
駅構内の時計撤去！

1・12番線東京方階段
23年1月末～半分仮囲い！
23年8月閉鎖！

13・14番線東京方
エスカレーター
23年1月末～停止！



掲げられた“マジクロ”のために努力してきても、自分の
駅のことすら社員には何の説明も無いのか・・・。

変革 2027 を実現するために奮闘し、ヒト起点の価値・サービスを
創造的に作りだしている組合員・社員を蔑ろにしている！

何の説明もせずに利便性を損なう施策を実施することは
JR東日本を利用されるお客さまからの信頼を更に失墜させることになる！

<申し入れ内容>

1. 年末年始輸送が始まるタイミングで「スリム化と称した品川駅構内の時計撤去」を実施する具体的根拠を「ヒトを起点とした価値・サービスの創造」「変革2027実現」に向けた基本方針等に合わせて示すこと。また、品川駅の特情を踏まえホーム上では最低1台、その他の場所では必要最小限の数で時計を残すこと。
2. 品川駅改良工事に伴う1月31日から始まる第6・7ホームA階段の仮囲い・エスカレーターの廃止、閉鎖までのスケジュールと、これに伴う想定される事象、この対応方法について具体的に示すこと。
3. この申し入れに伴う団体交渉は、十分な議論時間を確保し2022年12月21日までに開催すること。

社員とお客さまの声に耳を傾けない施策の一方実施は認められない!!